

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 【新】アグリパークサポート体制構築事業費（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農政課 政策企画係 電話番号：058-272-1111(内4017)

E-mail : c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,200千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	9,200	4,600	0	0	0	0	0	0	4,600
決定額	9,200	4,600	0	0	0	0	0	0	4,600

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

アグリパーク構想に基づく多様な主体が農業に参入するにあたり、「農地」が必要となる。農地中間管理機構を通じた貸借等による農地利用が制度として存在するが、大規模農家、専業農家などを想定したスキームであり、現状、多様な主体による農地の利用は難しい。加えて、水田には地縁や水利に関する慣例等あり、特に多様な主体の参画が難しいため、地域の実状に応じたスタートアップモデルの構築を実施する。

(2) 事業内容

1 多様な主体による農地利用の円滑化モデル事業（内、2,200千円）

農地利用に係る手続の関係機関で構成する特別チームを設置し、各地域の実状に応じた将来の農地の在り方、農地中間管理機構を通じた「多様な主体」への貸借の仕組み（運用）を検討し、円滑化モデルを構築、全県へ展開する。

2 水田スタートアップモデル事業（内、7,000千円）

① 楽しく儲かる稻作体験タイプ

稻作は技術面では比較的マニュアル化されているものの、固有の過程が多く、初心者にはハードルが高い。また機械操作含め、県内に稻作の技術を学べる場がない。そこで稻作経営者の組織等と連携し、水田の農作業の切出しと、多様な主体が技術を習得する仕組みを構築する。

② 中山間地城市民農園タイプ

中山間地域における中小規模の水稻農家の減少（離農）が見込まれることから、水田の市民農園の設置を通じて、地域の非農家やUターン、移住（予定）者などを多様な形での水田の担い手に育成するスタートアップモデルの構築を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県1／2、国1／2

(地域未来交付金（地域未来推進型）の活用を想定)

(4) 類似事業の有無

- ・アグリパーク重点推進モデル実践補助金（補助率10／10）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	60	円滑化モデルファシリテーター報償費
需用費	100	消耗品費
役務費	40	通信費
委託料	9,000	業務委託料（1:2,000千円、2:7,000千円）
合計	9,200	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業活性化基本計画（仮称：令和8.3月策定予定）（R8～12年度）

I 新たな担い手の確保

1 多様な主体の参画促進

(2) 国・他県の状況

国は大規模な担い手の育成等の推進を重視しており、「アグリパーク構想」を通じた多様な主体による農業への参画、こうした主体への支援体制などへの予算は不十分であることから、県が独自に推進する必要がある。

(3) 後年度の財政負担

アグリパーク構想の実現のために必要な事業であり、次年度以降も継続した支援が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

アグリパーク構想の実現のために必要な事業であり、令和8年度は早急にモデルの構築、推進を進める観点から、県が事業実施する必要がある。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・アグリパーク構想による農業参入者を含めた多様な農業を担う主体が、地域を牽引する経営体とともに地域や食料構造を支えるハイブリッド型の農業構造への転換を進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R7年度 実績	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
アグリパーク構想を通じ農業に参画した主体数	0			10	(累計) 550	

○指標を設定することができない場合の理由

（記入欄）

(これまでの取組内容と成果)

令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

「アグリパーク構想」の実現にあたり、農地の円滑な利用、水田のスタートアップモデルを構築し、しっかりと横展開し、県内に広く波及させる必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

アグリパーク構想の実現のためには、農地の円滑な利用、水田のスタートアップモデルは重要であり、モデルの構築後も、横展開や県内への波及等の推進を行う観点から、県が引き続き事業実施する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	